



新学期スタート！進路実現・より良き人生のために、今、意識・自覚すべきこと
「できるだけ高いハードルを設定し、その目標を乗り越えるための努力を」
—受験ハードルの高い学校ほど経営力・教育力・社会的評価が高い—



なぜ、受験ハードルの高い学校をめざすべきなのか？

始業式でも話したとおり、受験ハードルが低い学校であればあるほど経営難・人材難の傾向が強い。特に問題なのは、経営難であればあるほど教育的配慮に欠け、指導体制が十分に行き届かない可能性が高いこと。お金も人材も十分に生徒のために投資できなければ、その学校の社会的評価は高まらず、卒業後の進路実現や将来の経済的自立が困難となる。それは、会社も同じである。よって、できるだけ経営状態が安定し教育力の高い学校・会社をめざすべきだ。そうした学校・会社は当然受験生の人気が集まり、競争倍率が高くなる。ハードルが高ければ高いほど苦勞して受験勉強をしなければ合格できない。結論は、学力を高め、高い目標を設定し、最大限の努力により目標を突破することが第一、ということになる。その際肝心なのは、目標を設定して受験勉強する前から、自分を過小評価し、消極的にならないこと。本校では伝統的にこの傾向が強く、本領発揮できないまま卒業する生徒も少なくない。積極的な挑戦は例え失敗しても一生の悔いにはならないが、消極的になり挑戦をやめれば一生の後悔になりかねない。挑戦から逃げず、自分を厳しい状況に追い込む経験をすることで、成績が伸びる喜びや勉強のやりがいを実感してほしいものだ。できる限り難関をめざし、高いハードルを乗り越えよう！

推薦AO入試が不確実で当てにならない理由とは？
—推薦AO入試は採点競技、一般入試は得点競技—



推薦AO入試は、小論文、面接、プレゼン、自己推薦書中心の入学試験であり、一般入試（センター試験等）は、各科目の得点を競う入学試験である。推薦AO入試は、水物であり合否は当てにならない。準備を仮に万全にしても落ちるときは落ちる。例えば今から推薦入試の対策だけを他の誰よりも徹底して勉強・準備しても絶対に受かる保証はない。試験官にとって、小論文の表現・主張・書き方、面接のたった一言・一つの印象が気に入らないとなれば、それで差が付いて落ちる。人の価値観・好み面接・小論文に持ち込まれる以上、推薦AO入試は、まさに採点競技（採点種目）であり、推薦AOに絶対はない。ところが、一般入試（センター・私大）は、基本的に一点刻みの得点競技（得点種目）だ。これはある意味極めて平等・公平な試験であり、実力勝負のわかりやすいすっきりした試験である。よって、正々堂々、実力勝負で戦える学力を身に付ければ、本来それが一番間違いの少ない受験方法である。当てにならない推薦AO入試に全力を傾ける前に、やるべきことがあるということ。一般入試に合格できる学力・地力を高める努力をすることが、最後に自分を助けてくれる。



進路ニュース

—福島県内の大学で医療系学部増設—



①いわき明星大「医療分野」に特化！2019年4月校名変更へ

学校法人いわき明星大が医療分野へ本格的にかじを切り、2019年4月を目標に大学名の変更を検討していることが10日、同法人への取材で分かった。薬学部と看護学部に加え、理学療法士などの育成を目的とした健康医療科学部新設を申請中で、医療分野の人材育成に特化した学部が増えることから、名称変更で新たなイメージ定着を図る意がある。新しい大学名からは「明星」の文字は外れる見通しだ。いわき明星大では、東日本大震災の影響により県外からの入学志願者が激減。減少が顕著だった科学技術学部の募集を15年4月に停止した。定員数に対するここ2年の入学者数は資格取得できる薬学部と看護学部がほぼ定員で好調に推移する一方で、15年度に設けられた教養学部は6割台にとどまっている。教養学部について法人は存続、廃止も含めて協議しており、「在籍する学生の教育は確保する」とした。 <福島民友新聞：4月11日付記事>

②県立医大で2021年4月より保健科学部(仮称)開設へ

福島県立医科大学でも、2021年4月より、保健科学部(仮称)の開設が予定されている。この学部では、理学療法士(定員40名)・作業療法士(定員40名)・診療放射線技師(定員25名)・臨床検査技師(定員40名)の養成をめざすことになる。残念ながら現1年生から受験可能となる。医療系と言えば、本校では看護系志望者がほとんどだが、医療系に興味関心のある生徒はこうした分野への進学も考慮に入れてほしい。

★理学療法学科・・・運動器障害、神経障害、老年期障害等に関する教育

★作業療法学科・・・身体障害、精神障害、老年期障害等に関する教育

★診療放射線科学科・・・画像診断技術学、放射線治療技術学等に関する教育

★臨床検査学科・・・病理検査学、生理検査学、血液検査学等に関する教育